

報道関係者 各位

神奈川県横浜市におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

神奈川県横浜市から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ  
新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性  
が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、  
情報提供します。

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料
平成21年11月16日
健康福祉局健康安全課
担当部長 岩田 眞美
電話 671-2434
671-2463

抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す遺伝子変異が検出された  
新型インフルエンザウイルス（A/H1N1）の確認について（2例目）

本日、新型インフルエンザの感染が確認された患者から、オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性の新型インフルエンザウイルスが確認されましたので、その概要をお知らせします。

なお、厚生労働省によりますとタミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

報道に際しまして、患者の個人情報には、特段の配慮をお願いします。

1 検査結果

- ・遺伝子解析（横浜市衛生研究所実施 10月30日（金）判明）  
オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性マーカーH275Y検出。
- ・薬剤感受性試験（国立感染症研究所実施 11月16日（月）結果連絡）  
オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を確認。  
ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性を確認。

（参考）

〔耐性：薬剤に対して抵抗性を持ち、これらの薬剤が効きにくくなること。〕  
〔感受性：薬剤が有効に作用すること。〕

2 患者の概要

横浜市在住の6歳、男児  
基礎疾患 なし

3 経緯等

- 10月11日（日） 発熱（38℃台）を呈し、横浜市内の病院を受診。  
タミフルが処方され自宅療養。
- 10月14日（水） 腹痛が出現したため、再度同病院を受診し、虫垂炎を疑い入院。インフルエンザ迅速診断キットでA型陽性。
- 10月16日（金） 横浜市衛生研究所が実施した遺伝子検査の結果、新型インフルエンザ（A/H1N1）の感染を確認。
- 10月25日（日） 症状が回復し、退院。

4 その他検査状況

現時点までに、横浜市衛生研究所で検出された新型インフルエンザウイルス334株（検体）について調査を行った結果、タミフル耐性を持つ遺伝子変異が確認されたのは、今回の確認例を含めて2株（検体）です。

（参考）1例目の確認：10月28日（水）に判明。記者発表。